



「ガーデニングプロジェクト」では、

地域アートプロジェクト

アーツ前橋探検

vol.5



今回は、アーツ前橋の地域アートプロジェクトについて紹介します。地域アートプロジェクトとは、アーティストや地域の人たちと共に、館外で行う事業です。「住」をテーマにした「マチリアルプロジェクト」では、市民と共にまちなかを調査し、空き家を改装して、市民団体が活動の拠点として使用できる場をつくりました。これは各団体のまちなかでの活動を促進するとともに、団体同士がつながり、新たな活動が生まれることを目指しています。

「ガーデニングプロジェクト」では、アーツ前橋に来館された際は、ぜひ、館外のプロジェクトも体験してみてください。

問い合わせは
アーツ前橋 ☎027-2330-1144

日本とドイツの懸け橋に



ぐんま日独協会会長

鈴木 克彬さん 79歳
富士見町石井

ぐんま日独協会の会長を務めている。昭和63年の設立で、会員は現在約170人。ことしの5月には、第5回ドイツフェスティバルinぐんまを県庁で開催し、ドイツの魅力を多くの人に伝えた。

「日本とドイツは、世界の中でもまれに見る友好国だと思います。長年の交流の中で、互いの信頼を感じることができました。先進的な環境政策など、ドイツから学ぶことも数多くありますね」

同協会では、ドイツサロンやドイツ語講座、音楽会などを開催している。

「サロンにはドイツ人研修生を招き、文化や国民性の違いなどのテーマで楽しく情報交換をしています。ドイツ語が話せない人でも大丈夫ですよ」

趣味のフォークダンスを通じ、ドイツ

との交流が始まったという鈴木さん。市フォークダンス協会の会長を務め、指導者としても活躍中だ。

「ダンス仲間と会いに、年数回、妻とヨーロッパを訪問していますが、日本人は尊敬されていると感じることが多いですね。日本人は、日本の素晴らしさにもっと自信を持つていいと思いますよ」

富士見地区長寿会連合会の会長として地域活性化にも取り組むなど多忙な毎日だが、その姿は輝いている。

「好奇心を忘れず、何事も楽しみながら取り組むのがモットー。日本とドイツの友好関係を次世代につなげていくのが私の役割だと思っています」

これからも、長年の経験を生かし、日独友好の懸け橋として活躍してほしい。



ケーキで勝負！夏の甲子園

8月3日、小屋原町の東日本製菓技術専門学校でパティシエ甲子園を開催しました。高校生たちが洋菓子作りの腕を競うこの催しに、当日は10チームが参加。「暑さに負けない!! 夏ケーキ」をテーマに、どのチームも工夫を凝らしたケーキを作り出していました。



全身を使って時を刻む時計

アーツ前橋では7月27日から8月2日まで、身体表現と映像のアーティストユニット・off-Nibrollによる「ダンスで時計」ワークショップを行いました。参加者が全身を使って時間を表現し、映像で記録。これはアーツ前橋の館内時計として披露されます。

4地区の祭りで楽しい夏の思い出

7月27日から8月4日までの土日曜に、大胡・宮城・粕川・富士見の各地区で夏祭りが開催されました。どの祭りも多彩な催しで大にぎわい。家族連れなどが大勢訪れ、夏休みの楽しいひとときを思い思いに過ごしました。



大胡祇園まつり



宮城地区納涼祭



粕川まつり



赤城山夏祭り